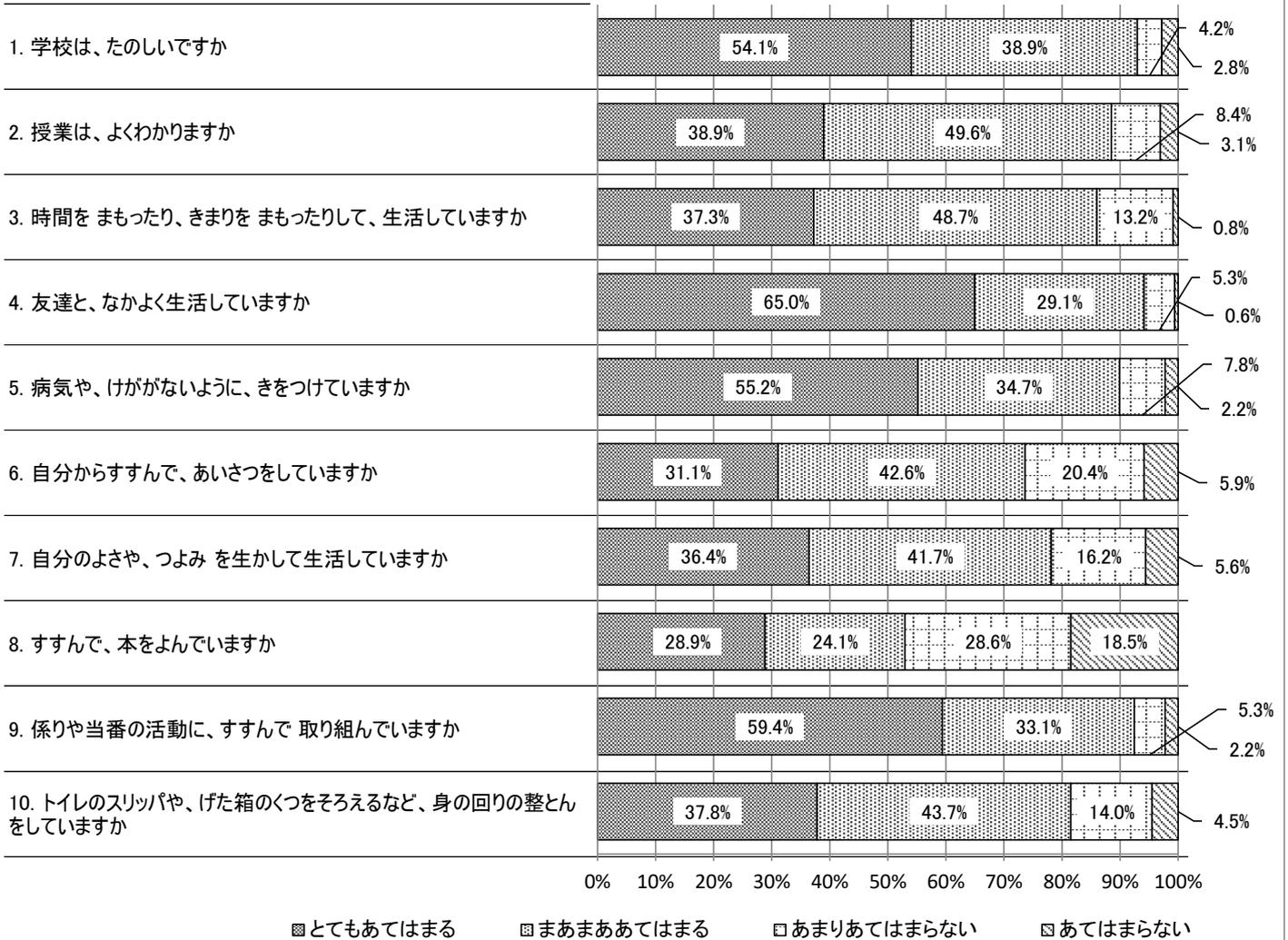


三吉小学校【児童】

令和7度 学校生活についてのアンケート結果 (R7年12月実施)



学校アンケート（児童アンケートの分析結果）

回答数：357人（1年48・2年82・3年60・4年59・5年56・6年52）

集計：各設問の4段階回答のうち「とても」「まあまあ」を肯定として割合化

1 成果（肯定の割合が高いもの）

①学校生活の満足度

「学校は楽しい」93.0% 学年差も小さく、多くの児童が安心して学校生活を送っていることが伺える。

②学びの理解感

「授業はよくわかる」88.5% 4年（94.9%）6年（94.2%）は特に高かった。学習に前向きに取り組んでいる様子が伺える。今後すべての児童が分かる授業、楽しい授業づくりに努めていく。

③人間関係と自治的活動の定着

「友達となかよく」94.1%、「係りや当番活動に進んで取り組む」92.5% 人間関係づくりの取組や学級や学年など集団の一員としての自覚を育てる支援や指導が有効であったと思われる。

2 課題（改善をしていくもの）

①読書習慣の定着

「すすんで本を読んでいる」53.0% 昨年から変わらず他の項目と比べて低い割合だった。高学年ほど大きく低下しており学年間の差が大きい。図書室を中心に、本を手にとってもらい、読書の楽しさを実感できるよう取組をしているがさらに工夫をしていく必要がある。

②あいさつの自発性

「自分からあいさつをしている」73.7% 学年によってばらつきがみられた。学級や担任の働きかけ（モデル提示、声かけ）、学校全体でのあいさつ運動の展開など考えていきたい。

③自分の良さ・強みを生かす

「自分のよさや、強みを生かしている」78.2% 高学年ほど低い割合になっていた。日常場面での承認的な声かけ、児童同士でのいいところを認め合う活動、ふりかえりのできるようになったことを可視化するなど学校全体ですらに取り組んでいきたい。

3 今後に向けて

全体的には、概ね肯定的に評価されている。今後、教職員で評価結果を共有し、次年度の学校経営等に生かしていく。また、これらの取組について家庭や地域とも協力してすべての児童が安心して楽しい学校生活を送られるよう努力していきたい。